

2

トインビー 歴史の研究⑥

(362 ~ 389)

202/07/12

項 目	内 容	備 考
第七篇 世界教会 (362ー	1. 癌としての教会 世界国家衰退の中で、最大の利益を受け、成長していくのが世界教会である。 ギリシア・ローマ社会は、個人と市民の社会への従属の思想の上に築かれていた。 国家全体の安全ということを行為の最高目標とし、現世であろうと来世であろうと個人を超えるものであった。 東方宗教の普及は、国家の繁栄を超えて、魂の永遠の救済こそ人の唯一の目的とした。現世と地上を軽蔑し、天上の神の都を最高のものとした本来の生活と行為の理想は失われた。	ローマ帝国の衰退とキリスト教の隆盛 個人 < 市民 < 国家 (社会) 個人 < 社会 社会 < 永遠の魂 (救済) 個人 < 社会
第2章 さなぎとしての教会 (369ー	（ローマ） 成功した組織 社 会 （個人）	変える組織

(序品第一)

仏は無量義の教えを説いた後、諸法実相の真理に全精神を集中する三昧におはいりになった。

「諸行無常」の意味は、この世のあらゆる現象、諸行は、常でない、いつでも同じではなく、常に変化する。この真実をはっきりと認識する必要がある。また、この世のすべてのものごとは、必ず誰かのものとつながりがある、孤立したものはない。「諸法無我」とはその網の目のようなつながりをいう。

「諸法無我」を悟れば、どうして対立や争いが生じ、奪いあい、憎しみあい、殺しあうなんてことが起こる筈はない。

項 目	内 容	備 考
	(法)には四つの意味がある (1) ものごと、宇宙の一切のこと (2) 真理、ものごとの生と滅をとらえた真理 (3) 教え、その時々正しい、ふさわしい教え (4) 喜びごとの実践、自利利他、自益益他 —鳩摩羅什はこれを「妙法」と翻訳した。これは最高の妙訳である。	

トインビー 歴史の研究⑦

(390-477)

項 目	内 容	備 考
第八篇 第 1 章 英雄時代 (390-	1. 社会的堰堤 軍事的「リーメス(堤防、堰堤)」は、技術と力の<u>巨大な記念物であるが</u>、不安定なものである。なぜなら、自然に対する反抗は、「<u>離れわざ</u>」であり、それを敢行すれば、人間はかならずそのむくいを受けねばならない。 2. 利己性と利他性 この世において<u>自己を実現するものは</u>、利己性と利他性である。 (1) <u>利己性</u>—宇宙を自分のまわりに体系づけようとする試みであり、生き抜くうえでの条件であり、その生命の現れである。 (2) <u>利他性</u>—愛のこと、その代価が死である。宇宙から搾取するのではなくて、献身するという自己犠牲、自己献身である。 <u>人は、真の自己充足を得るには、利他性しかない。</u> 3. 労働組合と人間 賃上 — 競争力減 — 倒産 — 失業 賃金 UP 価格値上 F 社 (職務脆弱、赤字) 賃上 — ストライキ — 倒産 — 失業 労働条件改訂 自由主義的企業 自己の貪欲————— 自己の死 (貪欲は美德である) (規則性なき故の破滅) ↓ き 社会主義的企業 しかし、労働者は、企業に対して同じくらい激しく抵抗する。 (1) マルクスは雇用者を侮蔑し、労働者を理想視した。 (2) マルクス主義者は、雇用者の搾取を抑制し、社会主義の到来を予測した。	

項 目

内 容

備 考

- (3)レーニン、(4)マルクス、(5)結局人間の本性は、雇用者も労働者も同じである。

人間の本性を正しく見極め、そこから変革の原理を確立して行かなければならない。従来の変革への試みは、人間自身への究明が不十分なままに、体制や機構の改革だけで社会を変革しようとしたところに、ある一面では成功を収めても、全体としてみれば失敗してきた根本原因があった。

4. 独裁制

日本の徳川家康、漢の劉邦、ローマ帝国のアウグストゥスは、いずれも独裁者でした。

この三人は、彼等の前任者たちの創立した似たような体制が失敗したにも関わらず、いずれも永続的な独裁制の樹立に成功しました。

彼等の成功の因は、より大きな悪を避けるためにはやむを得ないと考える範囲内に、その独裁色を抑えたところにありました。

独裁制は、当時、社会的・政治的無秩序という、より大きな悪を前もって防ぐための、より小さな悪として選ばれたのです。(トインビー)

項 目	内 容	備 考
第 2 章 圧力の増大 (394ー		
第九篇 文明の空間的接触 第 1 章 研究領域の拡大 (409ー	1. 高等宗教の発生地 すべては、文明の交通の要衝、ロータリーであった。 (1) ゾロアスター教・大乘仏教 インダス川流域・ガンジス川流域 (2) キリスト教 シリアのガリラヤ (3) イスラム教 中央シリアで発生	
第 2 章 同時代文明の遭遇 (412ー		
第 3 章 同時代文明遭遇の結果 (456ー		

高等宗教の発生地(仏教、キリスト教、回教など)は、すべて活発な文明の交流が行われた地域である。

インダス川流域、紅海をふちどる中央シリア、この地域は、活発な文明と人の交流が行われたところである。世界史上の文明の数は、インダス文明と殷のシナ文明を加えると全部で 23 になる。

- | | |
|---------------------------|-----|
| (1) 近代西欧文明とロシア | 416 |
| (2) " とヒンズー世界 | 426 |
| (3) " と極東文明 | |
| (4) ゼロト主義とヘロデ主義 | |

第 10 篇	文明の時間的接触	478
1.	ルネサンスの概念	478
2.	歴史における法訓と自由	480
	(1) 法訓の意味	480
	(2) 人間生活の自然法訓への服従	488
	(3) 近代の戦争と平和周期	490
	(4) 文明の解体と成長	491
	(5) 歴史における自然法訓	
3.	西欧文明の前途	516
	(1) この探求の必要性	516
	(2) 第三次世界大戦の可能性	519

トインビー 歴史の研究⑧

(478～515)

項 目	内 容	備 考
第十一篇 文明の時間的接解 (478ー	1. ルネサンスの概念 「ルネサンス」と死せるヘレニック文明が、中部イタリアにおいて、西欧キリスト教文明に影響を及ぼした。	
第十一篇 第1章 問題 (480ー	1. 歴史における法則と自由 2. 唯心論と唯物論 (1) 唯心論は、<u>道徳心や愛を説き、人間社会を人間らしく生きるために多大な貢献をしてきた。肉体的側面を軽視している。</u> (2) 唯物論は、<u>近代科学の成立と発展に役割を果たしてきた。肉体をも物質視する傾向となる。</u> (3) 物質は精神論では理解できない。 (4) 精神を物質論で理解することもできない。 (5) 両者ともに包含する単一体として見るとき、はじめてそれらを理解することができる。 (6) 仏法では、“色心不二”という生命観を展開している。<u>“色”とは、生命物質は側面であり、“心”とは、生命の種々の働きを促す。</u> (7) 精神身体医学とは、心身は一体であるという立場から、身体的因子だけではなく、社会的・心理的因子、精神的要素に配慮して、診療を行う医学。心の健康なしには、肉体の健康もあり得ない。 3. 意識と潜意識 (1) 直観－潜意識がその源泉となる。 (2) 意識レベルにおける判断は、潜意識の影響が深まれば、より高度化できる。 (3) 潜意識の研究では、西洋では初期の段階である。フロイトに先立つこと、2400年も前にヒンズー教徒や仏教徒はこの探求をはるかに長期にわたって続けてきている。	

現代西洋文明が、他の文明を抜き去り、頂点に立ったという信念は、滑稽なまでに誤っている。

2. The Exploding World of The Internet

(何が変化の原動力か)

2021.07.12
2018.07.29

Next Society 2002 年

AI と ICT

1. 毛沢東の教育

- (1) 字を読めるようになった子供に
教師の役をさせる
- (2) 文盲率を 70% から 30% に減少した
- (3) 教育の最大の障害は、職を奪われる
教師
- (4) 教育は平等化の起爆剤
- (5) フランツ・カフカとヘルメット

2. 純粹のメーカーではやってゆけない

- (1) 流通力を持つナレッジ・カンパニー
- (2) 製造の力では、製品を差別化できない
- (3) 製品の価格はケネディ政権の頃
に比べて 4 割下がった。
教育など知識産業の価格は 4 倍
になった。
- (4) 他社のシェアを奪う為に製品の
差別化が必要である

経済の変化

それは、大きな流れとしての

集約から分散への変化

であらう

(5) それは分散であらう

3. 雇用が減れば、保護が増える

- (1) もはや輸出主導型の経済発展は望みえない
- (2) NAFTA は、補助金によって保護される
- (3) この世界的な流れの中で、最大の被害者が日本だ
- (4) 各国内で雇用が変化しつつある

4. 情報が仕事を変える

- (1) 新しい情報革命が企業から始まった
- (2) 情報のコンセプトにかかわる革命
- (3) 本当に必要な情報と何か
- (4) IT の中心はデータではなく情報である
- (5) 情報の助けによって行うべき仕事
- (6) 仕事を行うべき組織のあり方

情報は、何を参考にする

5. コンピュータが一新したもの

- (1) 現場の仕事
- (2) 建築などの革命的なソフトウェア
- (3) 経営の価値は低コストにすることか

それを人間が活用 (高付加価値)
する為のツール

(4) 新規参入者の出現

the The Exploding World of Internet

No. ② 314

Date

Financial incentives don't prevent people from leaving

変動

価値観の変化

IT革命のインパクトは想像をはるかに超えている。

問題は情報そのもののインパクトではない。AIのそれである。

意思決定や政策や戦略等に対するコンピテンスのそれである。

10年、15年という、長い時間の中で予測は正確で、社会に与えている影響は、

それだけ、E-commerceのインパクトである。AIによる判断のインパクト

知識労働者の求人、求職者にも使われている。

大流通チャンネルのインパクト

脚本を入力し、演出経路を予想させる

E-commerceは経済、市場、産業構造を根底から変える。

製品、サービス、流通、消費者、消費行動、市場を変えていく。

さらにそれによって、社会、政治、世界観、そしてそれによって自身にインパクトを与える。

IT革命の先 (壊れたものの先)

① E-commerce

② Fin-tech

③ 自動運転

AIによる判断が

Mao's government was to eliminate illiteracy in China.
Not by means of a new technology, but a very old one:
the student who has learned to read teaches the next one.

6. ドラッカーの未来予測の方法
(明日のために今日行動する)

しかし、未来は予測できない。予測したとしても単なる“推測”である。
従ってマネジメントは、次のように考える必要がある。

- ① guesses x
② educated guess の違い *must always anticipate the future*

(1) 経済変動を迂回する

(景気変動を企業経営の要素としない)

Getting around the business cycle

景気変動をやむを得ない、予測不可なものと認識する。予測しよ (迂回する) うとしない。(出来ないこと、存在しないことの認識)

(2) 既に起こった未来を見つける

(底流分析をして底流をつかむ)

Finding economic bedrock

合理的な判断のために既に起こった経済変動の次の波を事実によりつかむ。(既に起きているが、まだ次は現われていない、先に次に起こることを予想する)

(3) 傾向値を把握する

(過去の傾向値を理解する)

Trend analysis

過去の傾向は将来の傾向とは別であるが
(過去の材料を集める)

(4) 将来に備える

(将来の経営人材の育成)

Tomorrow's managers the only need safeguard

予測できない将来に備える最高の方法は人材の育成
(明日のために)

(5) Risk を評価し 利益にカバーする

3. From Computer Literacy To Information Literacy

(1)と(2)を使いきれずの人は多い、情報を使いきれず
 2018.07.28
 2020.07.20

Next Society 2002 年

AI と ICT

1. コンピュータリテラシー

コンピュータを使うことは当たり前

(2)情報リテラシーが重要

情報を使うことが当たり前にならなければならない

(3)情報の使い手は CIO ではなくて CEO

2. 情報中心の組織

(1)情報が経営資源となる

(2)情報理論の法則と中継器

3. 必要な情報が手に入る情報システム

From Computer Literacy to Information Literacy

インフォ-リテラシーは当然、当然である。

いかに早く普及するか。陳腐化のスピード!! インフォ-リテラシーが競争優位性である!!

Information would become the main productivity factor.

インフォ-の使い方の問題になる。

10年後、15年後には、インフォ-リテラシー(情報を使うこと)

が前提になるようになる。

When CEOs talk of eliminating management levels,

they begin to use information as a structural element.

Many times, we quickly discover that most management levels manage nothing. faint - weak

Instead, they merely amplify the faint signal

emanating (produce) from the top and bottom of corporate

infrastructure. I image that most CEOs have heard

the first law of information theory:

Every relay doubles the noise and cuts the messages in

half. Management don't make decisions. They serve

only as relays.

情報とは何か？

不十分な情報

既知という片翼

結果とにわかれれば、内部の情報という片翼で飛行している。

必要なのは、さらに内部の情報を増大や改善にたい。

外部の情報の獲得である。

世界のアフリカは貿易赤字に悩んでいると思われている。

実際には、世界でそのことを知らぬ。世界の貿易に関しては、貿易収支の

概念を生まれるのは18Cの初めである。アメリカはサービス貿易では黒字である。

アメリカには50万人の留学生がいる。1人当り15,000ドルを稼いでいる。

これで70~80億ドルの米貨収入がある。

商品貿易とサービス貿易を合わせれば、アメリカは黒字に変われる。

残念な統計がある。

大切なのは、外部の世界にあり十分な情報を手に入れた上で意思決定を行うことである。

インターネットを使うことは、最低限の能力に過ぎない。

10年後には、情報を使うことが当たり前になっていくことになる。

Next Society 2002 年

AI と ICT

3. 鉄道は距離を克服した

- | | |
|-------------------------------------|-------|
| (1)距離の克服は、人の思考を変え、
視野を変え、世界観を変えた | 郵便、保健 |
| (2)鉄道は、経済と雇用を大きく変えた | 金融、保険 |

4. 世界インターネット網は距離を消した

e-commerce

- | | |
|--------------------------------|-----------|
| (1)売手はどこにいてもよい | アマゾン、グーグル |
| (2)顧客は売手がどこにいるか気にかけない | AI、アリババ |
| (3)アマゾンは、注文がどこから来たのか
気にかけない | |

5. e-commerce は生産と販売を分離する

- | | |
|--|----------------------|
| (1)企業間の e-commerce は、消費者向けより
伸びる | 大流通チャンネルとしてのインターネット網 |
| (2)歴史上初めて販売と購買を分離した | |
| (3)販売とは、注文を受け、支払いを受ける
までである | |
| (4)購買とは、商品が配達され、購買者が
満足するまでである | |
| (5)販売は集中化が不可欠となり、 | |
| (6)購買、配達は分散化が不可欠となる | |
| (7)生産と販売をも分離する。われわれが
今日生産と呼んでいるものは調達とい
うことになる。 | |

6. これまでの企業活動では、販売は生産の僕(しもべ)だった。販売は生産したものを売らせてもらっていた。そのためのコストセンターだった。これに対し、e-commerceでは、販売は配達できるものは何でも売ることになる。

7. 今までの経営手法が通用しなくなり、変革が強制される

8. Procure(ment)調達する

生産→販売	調 達
販売は生産の下僕	調達が主役
生産されたものを販売	調達→配達 配達できるものは何でも売る

新 聞	本
配 達	店先、配達
毎 日	後日でOK
Web化(競争多)	Kindle
cost がかかる	Web 化
本屋は扱わない	本屋で扱う
読者減少	読者増加

このコマースは、経済、市場、産業構造を根底から変える



インターネット



大流通ネットワークとしてのインターネット

インターネットの実務（販売、調達、事務……）への活用は、

経営、経済、市場、産業構造を根底から変える。

製品、サービス、流通、消費者、消費行動、需要市場を変える。

さらに、社会、政治、世界観、個人の考えや行動を変える

この世界の情報を入手するためには、個人同士へ出てゆくしかない

Traditional multinationals will, in time, be killed by e-commerce. The e-commerce delivery of goods, of service, of repairs, and maintenance will require a different organization from that of any multinational to day.

It will also require a different mind-set, a different top management, and in the end, different definitions of performance.

Indeed, the very way performance is measured will change.

生産が(購買)になる。

生産の位置は独立になる。

生産力の不足は致命傷になる

沖縄の経済 - 供給力の不足

販売が(在庫)になる

とすると IT ネットワークは 在庫になる。

IT ネットワーク ... 申核の強さ味

購買とは、商品が在庫で購買者が満足する

販売とは、流通経路が販売者にあり

とすると、販売と購買は分離する、すなわち生産と販売は分離する

今後、生産と販売は分離する、購買になる。

生産は先送り、販売の後に、在庫の先送りをする!!

経営者の条件

(組織の全員が executive のように働く)

2021.07.12

2019.09.04

第 1 章	成果をあげる能力は修得できる	210
	成果をあげることはなぜ必要か	
	成果をあげるべき者はだれか —エグゼクティブの範囲—	
	成果をあげるべき者をとりまく現実	
	成果をあげる能力の向上	
	成果をあげる能力は修得できるか	
第 2 章	汝の時間を知れ	220
	時間は何に使われているか	
	時間の使い方を診断する	
	時間浪費の原因を整理せよ	
	<u>自由になる時間をひとまとめにせよ</u>	
第 3 章	どのような貢献ができるか	230
	貢献へのコミットメント	
	専門家に成果をあげさせるには	
	人間関係のあるべき姿	
	会議に成果をあげさせよ	
第 4 章	強みを生かせ	240
	強みによる人事	
	上司を管理せよ	
	自らの成果をあげる	
第 5 章	最も重要なことから始めよ	250
	過去から脱皮せよ	
	仕事の優先順位、劣後順位を決めよ	
第 6 章	意思決定とは何か	260
	二つのケーススタディ	
	意思決定のプロセスはいかにあるべきか	
第 7 章	成果を上げる意思決定とは	270
	意見の対立を活用せよ	
	意思決定は本当に必要か	
	意思決定のコンピュータ	
終 章	成果をあげることを修得せよ	280

第1章 成果をあげる能力は修得できる

2019.09.05

(1) The Effective Executive

1966年、ドラッカー56歳のときの著作

(2) 成果をあげるために、自らをマネジメントする方法

他人をマネジメントすることは不可能でも、自らをマネジメントすることは可能である。

マネジメントとは、自らが模範となっていくものである。

至利山大王

(3) 成果を上げている者はみな、成果をあげる力を努力して身につけてきている。そしてすべては、日常の実践によって成果をあげることを習慣にしている。

同時に、成果をあげる者は、社会にとって不可欠な存在である。

(4) 成果をあげるための八つの習慣化

① なされるべきことを考える(何をしたいかではない)

② 組織のことを考える(組織にとって良いこと)

マネージャーが認識すべきこと

③ アクションプランを作る(行動への転化)

④ 意思決定を行う(責任者、日程、納得すべき人)

⑤ コミュニケーションを行う(必要な情報)

⑥ 機会に焦点を合わせる(機会第一、問題第二)

⑦ 会社の生産性を上げる(「聞け」、「話すな」)

成果を上げる方法

⑧ 「私は」ではなく、「われわれは」を考える

組織内全員の責任感

(5) 成果を上げることは、何故必要か

エグゼクティブとは

働く者をとり巻く組織の現実

成果を上げるには手を広げすぎてはならない

得意でない分野では何もしてはならない

知識労働者の生産性とは、なすべきことをなす能力である

知識労働者は、量やコストによって規定されるものではない、成果によって規定されるものである

成果とは脚注的な仕事ではない

成果は内部でなく、外部で上がる

内部には、課題が存在する

大きさと構造との関係において、人間組織も動植物と同じ法則に従う
すなわち、表面積は半径の二乗で増加し、体積は三乗で増加する
従って、動物は大きくなるほど、体そのものの維持の為に体の内部の機能に多くの資源を吸収しなければならなくなる

他の分野の人の能力、成果を利用する能力がなければならない

組織の中に成果は存在しない、すべての成果は外にある

組織の中に生じるものは、努力とコストのみである

内部にはコストセンターがあるのみである

内部の問題は定量的で、外部の問題は定性的である

エドセルのための定量的データは完全であった

しかし、アメリカでは、所得ではなくて、ライフスタイルで決められるようになっていた

この定性的な変化は、いかなる統計も明らかにしていなかった

その変化が解ったとき、エドセルは売り出され、そして失敗していた

外の世界の重要なことは趨勢ではない、趨勢の変化である

この外の変化が、組織とその努力の失敗と成功を決定する

- (6) 成果を上げる者はだれか(エグゼグティブの範囲)
 変化は知覚するものであって、定量化したり、定義したり、分類したりするものではない
 分類で得られた数字は、現実の状況を反映していない
 過去の事象のみに関心を持たず、現在の事象の変化を見る
 コンピューターは外の世界との隔離を認識させ、外の世界に多くの時間を割かなければならない
- (7) 成果を大幅に改善するには
 成果を上げる能力を向上させる
いかなる分野においても、豊富にいるのは無能な人である
 重要な分野で強味を持つ人に、その強みを発揮できるような組織をつくる
 人の能力の飛躍ではなく、仕事の方法の改善が必要である
- (8) 成果を上げる能力は修得できるか
 成果をことは一つの習慣であり、実践的な能力の集積である
- ① 何に自分の時間がとられているか知ること
 - ② 外の世界に対する貢献に焦点を合わせること
 - ③ 強味を基盤にすること
 - ④ 特定の領域(最優先事項)に集中すること
 - ⑤ 考えではない、成果をあげる決定を行うこと

第2章 汝の時間を知れ

- (1) 時間は普遍的な制約条件、貢献に焦点を合わせる
 - ① 仕事からスタートしない、時間からスタートする
 - ② 勿論、計画からもスタートしない
 - ③ 先ず、時間が何にとられているかを明らかにする
 - ④ 非生産的な要求を退ける
 - ⑤ 時間管理 — 記録、整理、まとめる
 - ⑥ 時間は制約条件である
 - ⑦ 時間は他のもので代替できない
 - ⑧ 会議の冒頭から貢献に焦点を合わせる

(2)

第4章 強味を生かせ

(1) 強味による人事

成果を上げるには、人の強みを生かさねばならない

弱味からは何も生まれない

結果を生むには、利用できる限りの強味、同僚の強味、上司の強味、自らの強味を動員しなければならない

強味こそが機会である

弱味を克服することはできない

しかも、強味により弱味を意味のないものにできる

一人ひとりの強味を建築用ブロックとして使う

人事において重要なことは、弱味を抑えるのではなくて、強味を最大限に発揮させることである

(2) 成果を上げるには

リンカーンは、グラントの酒好きという弱味ではなくて、戦い上手という強味に基づいて司令官を選んだために人事に成功した
リンカーンは、グラントを選ぶ前は、目立った弱味のない人間ばかりを将軍に任命して、3年間というものは、不利な戦いを変えられなかった

南軍の指揮者のリー将軍は、最初から欠点はあるが、強味に基づいて、弱味を無関係に将官を選んでいた

大きな強味を持つ者は、ほとんど常に大きな弱味を持つ

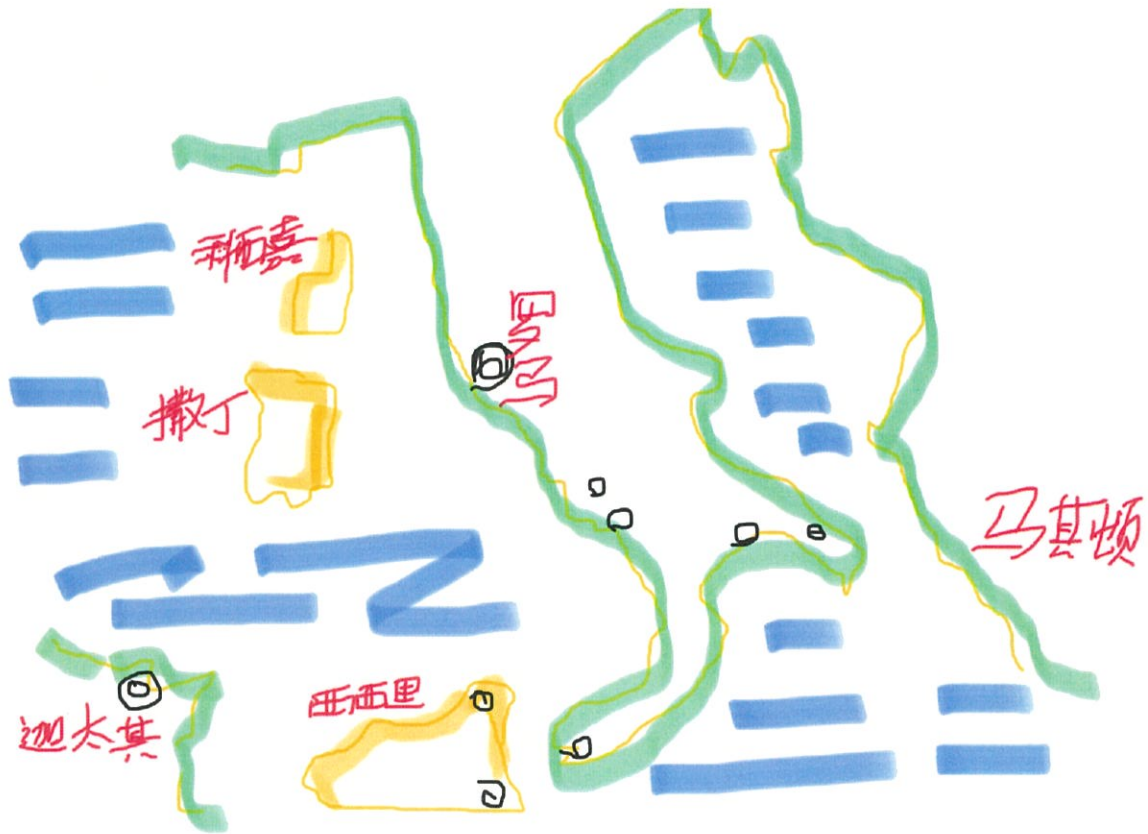
カーネギーの「己よりも優れた者に働いてもらう」という言葉ほど大きな自慢はない

差出人: yamauchi masaki masaki_yamauchi@hotmail.com

件名: 世界历史 (13) 《古罗马——共和制》“伟业非一日之功”

日付: 2021/07/05 8:39:23

宛先: peijun zheng zhengpj222@163.com



古代罗马城，建立在意大利半岛中部的台伯河流域，它在试“七丘之城”的基础上。

据说公元前753年，由“罗慕洛斯”和“勒莫”建立的。他们在婴儿时期被遗弃，

在一只母狼哺育下长大。

早在公元前800年，就有农民，牧民和渔民生活在台伯河沿岸山丘上的小村落中。

公元前510年罗马人独立，他们和雅典人一样，也不再愿意受一个国王的统治。

但另一方面，他们觉得，民主制度并不符合他们的目标。

尽管如此，经营国家罗马的全体共同事业。

平民男子们然为自己的国家感到骄傲。

他们不能容忍他们只是很多城市中的一个。罗马必须成为意大利第一大城。

不断扩大，到公元前270年，几乎统治了整个意大利，人口达300万人。一般情况下，被政府的城市，在内部仍然保持独立，他们的生活习惯也得以保持，

包括他们的宗教信仰。他们只需要向罗马纳税。

通过这样，“松散的方式”，罗马避免的法律和高效的管理体制下，生活也比过去得到很多改善。

2021年7月5号

ba

iPadから送信

差出人: yamauchi masaki masaki_yamauchi@hotmail.com

件名: 世界历史 (N014) 《布匿战争》公元前264~146年

日付: 2021/07/06 8:35:55

宛先: peijun zheng zhengpj222@163.com



到公元前270年，几乎统治了整个意大利，人口达300万。

罗马统治了南端以后，又开始进攻西西里。

这样就发生了和北非的迦太基人的冲突。

迦太基在当时是西部地中海地区最大的航海和贸易强国。

公元前264年，开始了“布匿战争”。第一次（公元前264~241年，23年间）。

罗马建立了一支海军，夺取了西西里岛。

战后，迦太基加强对西班牙控制。

第二次（公元前218~201，17年间）。

迦太基作殖民地以西班牙。伟大的战略家，汉尼拔干率军翻越阿尔皮斯山，大胆入侵意大利。

他在一次又一次击败罗马。可是罗马同盟军，罗马的忠诚下获得最后的胜利。

第三次（公元前149~146年，3年间）。

结果，迦太基被攻占，城市到彻底的毁灭，残存人口为奴隶。

这三次布匿战争，罗马进入一个连锁反应政府导致进一步的征服。

清除迦太基后，罗马转面迅速地接连攻击并吞了马其顿，叙利亚，最后前3年并吞埃及。

罗马控制下，地中海为“我们的海”

2021年7月6号



iPadから送信

差出人: yamauchi masaki masaki_yamauchi@hotmail.com

件名: 世界历史 (N015) 充满危机 (BC146~27) 阶级斗争, 奴隶
起义, 军人政治干涉

日付: 2021/07/07 6:14:14

宛先: peijun zheng zhengpj222@163.com



以后罗马发展下, 富人越来越富, 平民男子越来越穷。这种发展, 大部分男子都觉得不合适。

格拉古兄弟要求进行土地, 以便给贫穷的农民获得生存机会。

但是, 元老院议员们却进行改革不实行。

本来, 罗马共和制, 提高平民阶级的地位, 等于强化军事力, 这样工程中罗马的国力提高。

但是, 程度平衡不合, 越来越军队胜利, 越来越人民的生活困难。

公元前137年格拉古在市民会议上发言时, 他和他的300名支持者竟被殴打致死。

12年以后, 他的弟弟盖尤斯和他的支持者3000名也不得不死去。

后来的70年里, 暴力和混乱, 内战成了政治生活的常事。

国家, 社会重大的问题。

这样的内战中，战绩显赫的统帅，尤利乌斯·凯撒脱颖而出。

元老院任命他为执政官，任期10年，后来变成了终身职务。

从形式上看，罗马一直是一个共和国，但是实际上，凯撒已经成为唯一的统治者。

在一次会议上，被元老院谋杀凯撒。

为了确定凯撒的接班人，又进行了多年的斗争，最后，凯撒的养子“屋大维”占据了优势。

在公元前27年被元老院任命他为“国家第一公民”。

任命赋予他“大将军”和“奥古斯（至导这）”的荣誉称号。

此外他有事“凯撒”名字的继承人。

2021年7月7号

今天是《织女星》的祝日！！

祝你 越来越漂亮！！越来越健康！！

ba

iPadから送信

差出人: yamauchi masaki masaki_yamauchi@hotmail.com
件名: 世界历史 (N016) 帝政
日付: 2021/07/07 20:08:16
宛先: peijun zheng zhengpj222@163.com



织女节快乐！！🎊

越来越快乐！！越来越漂亮！！

“凯撒”这个名字后来演变成为“皇帝”的代号。

罗马“共和国”变成了君主国家，一切权利都最终曹纵皇帝的手中。

但是，奥古斯都从凯撒的命运中接受了教训。

他不是毕露地显示自己的权势，而是安扰元老院和市民会议，

让他们相信仍然在操从罗马的命运，共和国仍在正常运行。

但他是罗马军队的主师和国库的主管，任何人都无法违反他的意志行事。

奥古斯都在漫长的执政时期是，不仅在政治上利用这个权利，而却也在文化领域有所作为。

他特别关注文学，诗人招进宫中，为他创造一个无忧无虑的生活。

差出人: yamauchi masaki masaki_yamauchi@hotmail.com

件名: 世界历史 (17)  基督教

日付: 2021/07/09 19:51:52

宛先: peijun zheng zhengpj222@163.com



经过罗马历史上的“黄金时代”，“罗马和平”时期。经过200多年的时间，

和平时代结束了。

和平时代结束，就开始罗马帝国的渐渐地没落儿，是罗马皇帝男软弱，帝国内部困难，外部侵扰的结果。

这其中也包括了，产生于中东的耶稣基督的学说在地中海地区转播。

基督教产生了公元一世纪中叶在巴基斯坦地区，是犹太人创立的。

它是一种崇拜，信仰上帝和上帝之子“救世主”的宗教。

“救世主”在古希腊之中称为“基督”，基督教之名由此而来。

135年，基督教从犹太教中分裂出来，成为独立的宗教。

在罗马统治的地区赢得了越来越多的信徒。

他们多部分是普通百姓，未来生预示了美好的前景。

罗马皇帝认为他们作新的皇帝，因此开始传教的时候，对基督教的迫害。

到，公元313年宣布，“宗教自由不受干涉”，并允许基督徒自由行驶起宗教的行为。

这样，基督教称为罗马的合法宗教。

392年，基督教称为罗马帝国的国教。

1054年，基督教正式分裂为罗马公教(天主教)和基督正教(东正教)。

16世纪中欧洲又发生了宗教改革运动，从天主教中陆续分裂中一些新的教派，统称“新教”，

在中国称为“耶稣教”。因此，基督教是天主教，东正教和新教三大教派的总称。

2021年7月9号



差出人: yamauchi masaki masaki_yamauchi@hotmail.com
件名: 世界历史 (N018) 《罗马帝国东西分裂》西罗马过消灭
日付: 2021/07/10 6:10:28
宛先: peijun zheng zhengpj222@163.com



君士坦定大帝想让基督教为己所用，但实际上，基督教在他的保护下，很快就成为罗马帝国的第一大教。

公元324年，君士坦丁堡定为罗马的首都。它成了帝国最重要的城市。东部很快就在经济和文化超过了西部。

帝国统一的纽带就基督教。公元395年罗马再次分裂。

公元476年，最后一个皇帝退位，西罗国从此消灭。

一个时代过去了！！

2021年7月10号



iPadから送信

差出人: yamauchi masaki masaki_yamauchi@hotmail.com

件名: 世界历史 (N019) 《日耳曼民族大迁徙》

日付: 2021/07/10 15:59:19

宛先: peijun zheng zhengpj222@163.com



古代时期的伟大文明，希腊，罗马，印度，由北方的游牧民族入侵结束了。

古代希腊人和罗马人，把他们周边未开的民族称为“野蛮人”或“蛮族”，他们主要包括凯尔特人和日耳曼人。

凯尔特人（居住着今法国），日耳曼人还处于原始状态。

早在公元前一世纪，日耳曼人就开始罗马帝国境内迁徙。

不过，当时罗马军队十分强大。

随着帝国的衰微，公元4世纪后期，由于他们受到匈奴的攻击，开始侵入罗马国境内。

由此形成了日耳曼部落在啊德里亚堡决战，罗马被击败皇帝瓦林斯被打死。

395年，罗马帝国分裂为东西两部分。

410年，罗马城被攻陷。

419年，西哥特人建立王国。

这是罗马帝国版图内第一个日耳曼人国家。

公元五世纪初，西罗马帝国的土地已大部分丧失，帝国名存实亡。

476年，西罗马帝国灭亡。

西罗马灭亡后，境内已是“蛮族”（后来西欧各国的祖先）的天下。

西欧，北非的奴隶制国家结束，进入封建社会的中世纪。

游牧世界居民在公元4、5世纪大规模地向农耕世界迁徙。

这亚欧大陆普遍发生的现象，是世界上一个极其主要的阶段。

游牧民族大迁徙的结果，是促进了两个世界的沟通与交流，改变了人类文明的进程。

2021年7月10号



差出人: yamauchi masaki masaki_yamauchi@hotmail.com
件名: 世界历史 (N020) 东罗马帝国时代 (拜占廷时代)
日付: 2021/07/10 17:41:29
宛先: peijun zheng zhengpj222@163.com



公元330年，罗马皇帝君士坦丁一世把首都迁到君士坦丁堡。

395年，皇帝死后帝国分为东西两部，从此走上各自独立发展的道路。

东罗马帝国版图包括巴尔干半岛，爱琴海诸岛，小亚洲，美索不达米亚以及非洲的埃及，利比亚等地区，是一个横跨欧，亚，非三洲的庞大帝国。

由于有稳定的农业生产做基础，又繁荣的国内外贸易，国家财政源比较充盈。

国家的实力自然就比较长大，在西罗马帝国灭亡后，继续存在了千年。

查士丁尼即位不久，君士坦丁堡就爆发了起义，查士丁尼镇压了起义。

公元529年，查士丁编成罗马民法大全，对后世立法影响深远。

2021年7月10号



iPadから送信